

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。

要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は8月中旬に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



議員BOOK

▶福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



福生駅西口地区市街地再開発事業の進捗について



正和会
小林 貢 議員

質問 前回定例会以降の進捗状況を伺う。

市長 3月に、現在準備組合が進める計画は市負担額の提案が具体性に欠くものであったこと等から、受け入れを前向きに検討することが難しいため、一旦立ち止まって見直すことを決定していただければ、市も一緒に考え可能な限りの支援をしていくことを文書にて伝えた。それに

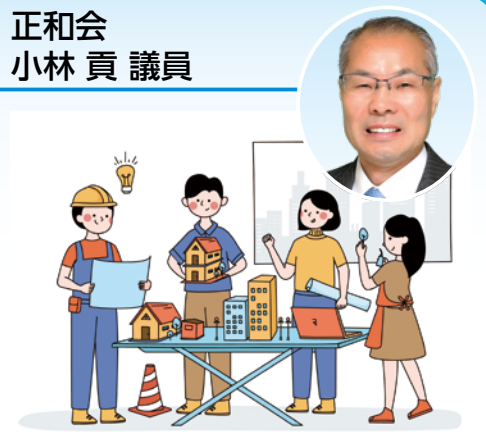
対し準備組合は臨時総会を開催し、新たな事業計画案の検討を市と共に推進することを議決したとのこと。

加美平三丁目で発生した殴打事件について

質問 4月29日（祝）午前に発生した事件における児童・生徒の安全確保について伺う。

教育部長 教育委員会では当日の夜に児童・生徒の登下校の安全確保

についての事務連絡を全校長に発出。学校は通常どおりとした上で、市職員・教育委員会や警察による登校時の安全確保、PTAやコミュニティ・スクール委員等へ安全管理への協力を依頼。翌30日、5月1日の登下校時は多くの地域の方々が見守る中、児童・生徒は通常どおり登校できた。学校に対しても安全管理体制の再確認をするよう徹底を図った。



道路交通法改正に伴う交通ルールの周知について



正和会
仲間 正司 議員

質問 4月から導入された自転車の交通反則通告制度について、市民への周知の状況を伺う。

市長 市では道路交通法の改正にあたり市広報やホームページを通じた情報提供を実施。この取り組みに加え、庁舎デジタルサイネージや市営駐輪場等でのポスター掲示など多様な手段を活用した周知活動を実施した。福生警察署とも連携し、高齢

者や一般向けの交通安全講習会、交通安全教育の出前講座を行っており、今後も引き続き交通ルールやマナー啓発に努めていく。

福生市立小学校における小動物の飼育について

質問 小学校における小動物の飼育について、その教育的意義と課題を伺う。

教育部長 児童が学校生活の中で

動物と触れ合い、飼育に直接関わることは動物愛護の心を育成する上で重要である。飼育環境の確保、動物アレルギーへの対応、長期休業中を含めた飼育体制の維持、衛生面や安全管理など様々な課題もあるため、小動物飼育を一律には求めず、自校の実情を十分に配慮し、校長の判断で教育活動に位置づけることが望ましいと考える。



▲2月に開催した交通安全講習会の様子

福生市の災害対策について



正和会
森田 哲哉 議員

質問 いつ発生するか分からない災害に対して平時から備える「事前防災」についての取り組みを伺う。

市長 災害発生時の活動組織となる各災害対応部には、災害関連死対策や避難所の環境改善などの課題がある。それらを横断的に解決し、災害時に災害対策本部が効率的かつ的確に機能するよう、平時から災害対策の推進に向け課題等を協議する場

として副市長を本部長とした災害対策推進本部を組織した。今後は同本部を中心に、全庁的に事前防災を推進する。

子どもに対する性犯罪の根絶について

質問 学校での児童・生徒を性犯罪、性暴力から守る取り組みを伺う。

教育部長 「福生市教育ビジョン2025-2029」に基づき生命の尊さや性暴力が及ぼす影響、自他を尊重す

る態度を身につけることを目的とした「いのちの安全教育」の授業や、東京都教育委員会作成の「GIGAワークブックとうきょう」による情報モラル教育を実施。被害の兆候の早期把握と適切な対応のため日々の健康観察のほか、年3回の定期的なアンケートやスクールカウンセラーとの面談を実施。不安や悩みを相談しやすい環境づくりに努めている。



共同行政事務処理センター等検討会の概要と設立の背景等について



正和会
山崎 貴裕 議員

質問 検討会を立ち上げることだが、概要と設立の背景等を伺う。

市長 生産年齢人口が減少する中、持続可能な行政運営と行政サービス提供体制構築のため、人口規模が近く同じ住民情報システムを使うなど共通部分が多い羽村市とあきる野市、また本市と包括連携協定を締結しているTOPPAN株式会社と広域かつ官民連携の検討会を立ち上げた。

補助金を活用し、令和8年度から3年間、行政事務処理共同化の研究や共同処理する業務を選定する。

専門性の高い職員の採用、育成等について

質問 専門性を有する職員の採用、技術継承や育成の考え方を伺う。

市長 専門性を有する職員は通年採用で、今年度は土木や建築に加え福祉やDXに係る採用も行う。本市

は小規模なため有資格者等も一般事務職で採用。複数部署を経験し行政職員としてスキルアップを図り、専門的分野では一般職員へ指導的役割が求められる。一方、職員に求められる知識は高度化しており有資格者の人事異動については技術の継承に必要な期間も考慮する。その他専門研修への参加や資格取得費用の助成等、知識や技術向上に努めている。

